

## 現状認識

### 国内外の社会情勢の変化

- 世界秩序の再編の始まりと、科学技術・イノベーションを中核とする国家間の覇権争いの激化
- 気候危機などグローバル・アジェンダの脅威が現実化
- ITプラットフォームによる情報独占と、巨大な富の偏在化
- 脱炭素化やビジネスモデル転換等が我が国の重要な課題に

### 新型コロナウイルス感染症による変化

- 国際社会は一変
  - 感染拡大防止と経済活動維持のためのスピード感のある社会変革
  - サプライチェーン分断が迫る各国経済の持続性と強靱性の見直し
- 国内生活も一変
  - 非日常がもたらす生活・働き方の変化

### 科学技術・イノベーション政策の振り返り

- 目的化したデジタル化
  - デジタル技術の普及を背景に、“Society 5.0”を提唱したものの、個別独立型のITシステムが乱立するなど、情報社会(Society 4.0)が未成熟
- 科学技術基本法の改正
  - 科学技術・イノベーション政策は、人文・社会科学を含めた「総合知」により、価値観を形成し、社会を変革する総合的な政策へと進化が必要

コロナ禍が世界の変化に拍車をかける中、「グローバル課題への対応」と「社会システムの変革」の両立が不可欠

## 社会のリデザイン(Society 5.0の具体化)

### 一人ひとりが輝くオール・インクルーシブな未来社会へ

我が国の強みであるクオリティ・データを活用したデジタル・トランスフォーメーションと、我が国の伝統的価値観に根差したアプローチにより、「国民の安全・安心」が確保され、「人類の幸福(human well-being)」が実現された社会を目指す

#### 【持続性の確保】

- SDGsの達成を見据え、地球規模での環境の持続性を前提とした国内改革
- 社会保障費の効率化等を通じた安定的な社会制度の維持

#### 【強靱性の確保】

- 自然災害やインフラ老朽化、感染症、サイバー攻撃、サプライチェーン分断等の脅威に対する総合的な安全保障の実現

#### 【人生100年時代の多様な幸せの形】

- 誰もが個々に自らの能力を伸ばすことができる教育環境の実現
- 能力を生かした多様な働き方を可能とする労働・雇用環境の実現
- 生涯にわたり健康で社会参画し続けられる環境の実現
- 人々が夢を持ち続け、コミュニティにおける自らの存在を常に肯定し活躍できる社会の実現

#### 【国際社会におけるプレゼンス向上】

- 「分かち合いの価値観」や「三方良し」など日本の伝統的倫理観・社会観を踏まえ、新たな社会像とその実現に向けた戦略を言語化し、世界に通用するモデルを構築
- 日本の高度なテクノロジーに裏打ちされた「自由と信頼」を基に、上記社会像を“Society5.0”として世界に発信し、これを共有する国々と連携

次の5年間で「社会変革」を断行するとともに、その先を見据えた「未来への投資」を推進し、世界から人材と資金が集まる「共創の場」となることを目指す

## Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

人文・社会科学を含めた「総合知」やエビデンスを活用しつつ、未来像からの「バックキャスト」と現状からの「フォーキャスト」に基づき、政策を立案・実行し、その評価・検証を通じて機動的に改善

### イノベーション力の強化による社会変革の断行

- (1) 徹底したデジタル化の推進
  - ・ 政府のデジタル化、データ戦略の確実な実施
  - ・ Beyond 5G、スパコン、宇宙システム(衛星データ等)等の次世代インフラ整備
- (2) カーボンニュートラルの実現(2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ)
  - ・ 革新的環境イノベーション戦略、ムーンショット型研究開発の推進
- (3) 安全・安心で強靱な社会の構築
  - ・ 脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発、社会実装及び流出対策の推進
- (4) 社会課題の解決に向けた研究開発の推進と社会実装
  - ・ 人文・社会科学を含めた総合知の活用、社会受容性の向上策
  - ・ SIP制度の効果的活用、知財・標準の活用等による社会実装の推進・国際連携・展開
  - ・ AI、量子技術、バイオ、マテリアルや、宇宙、海洋、食料・農林水産業等の基盤分野での国家戦略の新たな策定や研究開発等の確実な実施
- (5) イノベーション・エコシステムの強化
  - ・ SBIR制度、アントレ教育、スタートアップ拠点都市形成、産学共創システムの抜本的強化
- (6) スマートシティの展開
  - ・ スマートシティ・スーパーシティの実現、官民コンソーシアムによる水平展開、国際展開

### 知のフロンティアを開拓しイノベーションの源泉となる研究力の強化

- (1) 研究システムのデジタル・トランスフォーメーション
  - ・ 研究データの共有促進、スマートラボ・AI等を活用した研究加速、研究設備・機器の整備・共用、研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境の醸成
- (2) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築
  - ・ 若手研究者ポストの確保、女性研究者の活躍促進、国際共同研究・国際頭脳循環の推進
  - ・ 博士課程学生の処遇改善(学内奨学金・フェローシップ、RA支出促進、長期インターンシップ)
  - ・ 人文・社会科学の振興(ファンディング強化、人文・社会科学のDX)
- (3) 大学の機能と経営力の強化
  - ・ 大学の個性化(自律的契約関係に基づく機能拡張や戦略的経営の実現)
  - ・ 10兆円規模の大学ファンドの創設

### 未来を見据えた教育・人材育成システムと資金循環環境の構築

- (1) 探究力と学び続ける姿勢を強化する教育・人材育成システムの構築
  - ・ STEAM教育、教師の負担軽減、初等中等教育におけるGIGAスクール構想の推進、リカレント教育の充実
- (2) 知と価値の創出のための資金循環環境の整備
  - ・ 研究開発投資目標の設定、政府投資を呼び水とした民間投資の活性化